



林野庁 北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション

第33号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

森林環境教育の取組

親子でCDラック(本棚)の作成

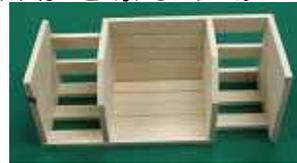
十月二五日(日)、釧路市子ども遊学館と連携し、木に親しもう木工教室「親子でCDラック(本棚)づくり」を開催しました。子ども遊学館が参加者を募集し、親子一五組、三十一名の参加がありました。CDラック

CDラックは、写真のようにラックの幅がスライド出来るよう工夫しました。製作の流れは、糸ノコ機械でトドマツ板をまっすぐ切断することから始まり、切断面のヤスリかけ、各板の組み立て、釘打ちと進みました。

糸ノコ機械は、子ども遊学館の物を使用して行いました。参加した親子は、子供と一緒に糸ノコ機械でまっすぐに切断するのに挑戦していましたが、段々曲がりだし苦戦していました。また、クギを打たせるなど、子供主体で作成に取り組んでいる親子もいましたが、中には親自身がほとんどを作っているような場面も見られました。各親子が作成したCDラックは、親子の数と同数の一五個が完成。各親子は悪戦苦闘した完成品を手に満足した様子で帰宅していきま



糸ノコ機械使用中



組み立て中



科学の祭典で

「樹木クイズと草木染め」

釧路市子ども遊学館では、子ども達に科学のおもしろさを知ってもらうため、毎年文化の日に「サイエンス屋台村(科学の祭典釧路大会)」を開催しています。第十回を迎えた今年は、教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、企業、NPO等が、科学に関する二八の様々なブースを出展。当センターでも、樹木の種の標本を展示し樹木の種が遠くに運ばれる様子を考えるクイズと樹木の煮汁でハンカチを染めるブースを出展しました。



樹木クイズ

樹木の種のクイズでは、兄弟三人が力を合わせて考えるなど、親子の微笑ましい光景が見られました。

草木染めでは、樹木(イチイ・ハンノキ・キハダ)の幹等を煮た茶色い煮汁で白い木綿のハンカチを染めてもらいました。樹種によってピンク色に染まったり、黄色やベージュに染まるのを体験して驚いていました。また、ヤマブドウの絞り汁が参加者には好評で、紫に色づいたハンカチを大事に握りしめていました。

草木染めは、他の科学ブースと違って自分で簡単に染め物を作れることから好評で、閉会まで親子の姿が続きました。



草木染め見本

第四回雷別ドングリ倶楽部活動

十一月二八日(土)、今年度四回目の雷別ドングリ倶楽部の活動を会員一四名が参加してパイロットフォレストで行いました。実施内容は、炭焼き・花炭作り、保育間伐作業でした。

炭焼きでは、ドラムカンを使用した簡易炭焼き窯に、炭の材料であるミズナラを七十センチメートルの長さで切り、炭焼き窯に隙間なく詰め込んだ後、火入れを行いました。また、花炭作りでは、



炭材作り



保育間伐作業では、直径十センチメートル程度のアカエゾマツを鋸を使って伐倒しました。「鋸で伐るのが可哀相」などといったながら、立派な森林になるようお願いを込め伐倒作業を終了しました。

最後に、花炭を窯から出し、出来具合を見定め、壊れないよう静かに容器に移して持ち帰りました。

なお、当日の昼食時には、「釧路キノコの会」に所属する会員からきのこ汁の提供があり、皆でおいしくいただきました。



間伐作業を終えて記念撮影

第九回森林再生小委員会の開催

一〇月二十九日（木）、釧路湿原自然再生協議会（以下「協議会」）第九回森林再生小委員会が開催されました。森林再生小委員会は協議会の下に設置された六つの小委員会の一つで、森林再生に関する実施計画とその実施状況、モニタリング結果等を検討します。

（環境省）達古武地域
自然再生事業箇所



釧路湿原自然再生協議会事務局現地説明会

十一月五日（木）、六日（金）の二日間、釧路湿原自然再生協議会事務局が主催した自然再生事業地の現地説明会が行われました。各機関の自然再生事業担当者が釧路湿原全体の自然再生事業箇所の現状を把握し、機関ごとの横の連携を密にすることを目的に開かれたものです。

雷別地区自然再生事業地



当日は個人委員五名及び団体委員五機関が参加し、環境省の達古武地域自然再生事業及び雷別地区自然再生事業を視察し、その後釧路市内の合同庁舎に場所を移して意見交換を行いました。



（当センター）
雷別地区自然再生事業箇所

進捗状況、課題等について担当者から説明を受け、意見交換を行いました。

湿原流入部土砂調整地設置箇所（国交省）



り、意見交換を行いました。

当センターにとって、他の事業箇所の進捗状況、課題、モニタリング手法等を現地で確認することができ、有意義な現地説明会になりました。

六日は国土交通省が行う土砂流入対策事業箇所三箇所、国土交通省及び北海道が行う久薯呂川土砂流入対策事業箇所二箇所、国土交通省が行う旧川復元事業箇所をそれぞれ見て回り、意見交換を行いました。

「道民森づくりネットワークの集い2009」に参加



一〇月二四日（土）、道庁赤レンガ前広場で「道民森づくりネットワークの集い2009」が開催されました。

今年、森づくり広場（ポスター展示とアクティビティ&ワークショップ）三四団体、木づかい広場（木づかいグッズ等の展示・即売）九団体が参加して開催され、森林管理局からは当センターのほか石狩地域、駒ヶ岳・大沼の各ふれあいセンターが自然再生と森林環境教育のパネル展示を行いました。

当日は、快晴に恵まれましたが肌寒い気温と、ファイターズのクライマックスシリーズと重なったこともあり、人は少なかつたようです。しかし、熱心にパネルに見入る人もあり、当センターの取組をPRしてきま



釧路ふれあいの展示ブース

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp